

The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 3 1 0 6 回 2021年11月12日 第 1 7 回 例 会

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021~2022年度 R I 会長 シェカール・メータ

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎22171

例会場

清流山水花 あゆの里内 🕿 296665 🕿 296505



人吉ロータリークラブ ホームページ



エイスブックページ

事務局

[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2021~2022年度 人吉ロータリークラブテーマ 話しかけよう、奉仕しよう、クラブに、地域に

本日の進行

点鐘

出席率報告

国歌斉唱、Rソング斉唱

Rと友紹介

来訪者紹介

R財団月間卓話

ДЕ 0 11-111

10 - 1 F. L. 1 10 1 1

会長の時間

ビデオ「ロータリーとポリオ』

幹事報告・IM参加報告 寄付カード

274 2 77 247

ご挨拶

点鐘

会場(あゆの里) + ZOOM

点 鐘

石蔵 尚之 会長

歌唱

ソングリーダ- 岡本明徳委員

国 歌 「君が代」

R S 「奉仕の理想」

司会·進行

プログラム 平田フク副委員長

会長の時間

会長 石蔵尚之

随分前のことになりますが、我が家に瀬戸内寂聴さんの法話が入ったカセットテープがありました。父は飛行機の機内番組で寄席を好んで聞いていましたし、寅さん映画が好きでしたので、人情物語という点が瀬戸内寂聴さんの本を読んでいましたので、まず間違いなく母のカセットテープだったに違いないと思います。皆さんもご承知のとおり瀬戸内寂聴さんが9日、99歳で亡くなったと知り、そんな記憶が蘇りました。人吉にもお見えになったと思いますが、全国で講っされ、孤独と愛、そして人生について説法され、ユーモアあふれる語り口は宗教を超えて多くの人々を魅了しました。

「人間は何のために生まれてきたのか」という問いに こう答えています。「人間は人の役に立ち、人に尽く すために生まれてきた」と。私たちもどこかで、そん なふうにありたいと願っているのではないでしょうか。だから心に訴えかけてくる名言の数々を人は求めるのだと思います。

せっかくですので、少し紹介させていただきま す。言い回しが正確ではないかもしれませんが、 そこはご容赦ください。

最初に。「たくさん経験をしてたくさん苦しんだほうが、死ぬときに、ああよく生きたと思えるでしょう。逃げていたんじゃあ、貧相な人生しか送れません」。「理解できないと投げ出す前に、理解しようと相手と同じレベルに立って感じることを心がけましょう」。

奉仕の心はこれだと思います。「人間は、幸せになるためにこの世に送り出されてきたのだと思います。そして幸せとは自分だけが満ち足りることではなくて、自分以外の誰かを幸せにすることだと考えてください」。

ひと頃、老人力という言葉が流行ったことがあります。それに近いものが「健康の秘訣は、言いたいことがあったら口に出して言うことです。そうすると心のわだかまりがなくなります」。または、「年を取るということは人の言うことを聞かないでいいということだと思います。あとちょっとしか生きられないのだから好きなことをしたらいんです。周りを気にして人生を狭く生きることはありません」。私もあと何年か後には、これを励みにしていきたいと思います。

ロータリーの仲間というとおこがましいようですが、皆さんと知り合い、親睦を深める中で、仕事だけでなくプライベートでも相談できる、悩みを聞いてもらえる皆さんの存在は、とても大きいものがあります。瀬戸内さんの言葉にもこうあります。

「心の風通しを良くしておきましょう。誰にも悩みを聞いてもらえずうつむいていると病気になります。信頼できる人に相談して、心をすっとさせましょう」。「人の話を聞く耳を持つことは大事です。もし身の上相談を受けたら、一生懸命聞いてあげればいいのです。答えはいりません。ただ

聞いてあげればいいのです」。

さて、この話はキリがありませんので、最後に2つ。私も好きな言葉です。

「やさしいということが、人間の一番すばらしいことです。他人を思いやるということは、想像力があるということ。それが愛です」。「相手が今何を求めているか、何に苦しんでいるかを想像することが思いやりです。その思いやりが愛なのです」。

いかがでしょうか。少し心が軽くなりませんか。ちょっぴり笑顔になるような気がしませんか。

瀬戸内さんネタばかりで恐縮ですが、毎週、もう一週間たったの?と、この会長の時間は直前まで悩みます。浅学菲才ですから、きょうは何をお話ししようかと。そうしたら、こんな言葉を見つけました。「人間は、元々そんなに賢くありません。勉強して修行して、やっとまともになるのです」。まともになるため精進して参ります。

今、私自身、緊張から難しい顔をしていないか気になるところです。「一日に一回は鏡を見る方がいいです。できればにっこりと笑ってみて下さい。心にわだかまりがない時は、表情がいきいきしているはずですよ」。半年後には私もそんな表情になれればと思うところです。

さて、瀬戸内寂聴さんは、昭和62年(1987)、岩手県にある天台寺の住職に就任されました。天台寺は、神亀5年(728)の開山とされる天台宗の寺院です。就任されてからは、その名が知られるところとなり、参拝する人が増えました。境内や周辺道路の整備が進み、比叡山延暦寺からは不滅の法灯の分灯を受けました。奉納された石仏が随所に立ち、瀬戸内師の提案で植えられたアジサイが夏には美しく咲き誇っているそうです。

実は来週、出張で盛岡に行ってきます。お寺のある二戸市は近いと思いますので、この機会に見聞してきたいと思います。また、いつか旅話ができればと思っています。

最後になりますが、先週の例会において説明させていただきました次々年度会長候補者について、本日までにお申し出がございませんでしたので、指名委員会を設置することにいたします。パスト会長の皆様にはご足労をお願いすることとなりますが、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。以上で会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 竹長一幸

≪連絡事項≫

地区より

- ① 第50回ロータリー研究会記念講演会のオンライン 視聴のご案内 (回覧)
- ② 2720地区大会告知案内パンフレット(配布)
- ・例会取止め 熊本南RC11/22休会
- ・くまもと被害者支援センターより、 犯罪被害者週間シンポジウムの開催ご案内(回覧) ○当クラブ例会

11/19「ボジョレーと満月を楽しむ例会」 ひまわり亭18:30~ 11/26 戦略委員会クラブフォーラム あゆの里

『熊本第6グループIM報告』

幹事 竹長一幸



11月6日(土)9時20分より芦北町コミュニティーセンターで行われました。参加人数は5クラブで74名、当クラブからは18名の参加となりました。

プログラムは2部構成で行わ

れ、1部では基調講話として芦北町危機管理監の諏訪敏久様による、「令和2年7月豪雨災害の状況と被災後の防災対策」という題目で講話がありました。芦北町の被害状況やこれからの防災対策について詳しく説明されました。

2部の方は港へ移動しての懇談会ということで、 4艘のうたせ船に乗りこみ、雨の中11時ごろ港を出 港しました。船の上には屋根はあるものの横から降 り込む雨でびしょびしょになりながら、寒くて震え ながらの出航となりました。30分ほどで漁場に到着 し、網をおろす間に昼食が出されました。船の中で 出された食事は芦北の「えび庵」の料理でした。

新鮮な刺身とエビ料理を震えながら美味しくいただきました。人吉中央の高橋幹事は自前の道具を持ち込み、大物を狙っていましたが、残念ながら何も釣れませんでした。うたせ漁の方は、網を引き揚げてみると「エイ」が掛かっていました。本命のエビの方は、全部で20匹ほどの水揚げでした。

以上、思い出に残る大変楽しいIMでした。



【ご挨拶】

延岡研一会員



先週の理事会において2年後の ガバナーノミニーデジグネート立 候補についてご承認いただき、ま た会員各位から賛同いただきまし たこと、心より感謝申し上げま す。

とはいえ、決まった訳ではなく、頭をよぎるのは2007年小林年度の幹事をした時のことです。詳細の事情は差し控えさせていただきますが、故伊久美パスト会長がガバナーノミニーとして手を挙げた際に、すったもんだの末に手を下ろさざるを得なかったことです。

その後、数年前に生前の伊久美会長からガバナーを目指すように言われたのですが、その時点では全く頭にありませんでした。そして、2007年以来人吉クラブからガバナーをという話が何度かあったようですが実現に至りませんでした。

大平ガバナー輩出が1990年7月です。その後30年の歳月が過ぎ今に至っている中で、また、嫌気がさしていたガバナーや地区に対して、出向や主催するセミナーを通して最近のガバナーを中心とした地区の纏まりや運営の素晴らしさを感じはじめました。

今の地区の良さは、中川パスト会長が一番理解しているのではないかと思います。

そんな中にあって、伊久美会長の死から1年、副 社長も入ってきて、また後継の目途も立ったことも あり、5年後の会社の経営環境を考え、自分自身 「やれるもんならやってみろ!」という気持ちにな り、決心した次第です。

現状は、地区に管理運営部門として出向しておりますが思うように参加できていないのが現状です。 先ずは、もう始動している次年度ガバナー補佐としての職務に全力投入して地区運営について勉強していこうと思います。

そして、2年後までにパストガバナーをはじめ地 区出向者の皆様に認められるように頑張っていきま す

2年後にガバナーノミニーデグジネートに選出して頂くことができたなら、5年後の2026年7月からのガバナー就任となりますが、前年度の10月頃からは動き出します。

その際は人吉ロータリークラブの皆さまの並々ならぬご支援が必要になりますので、何卒よろしくお願いいたしまして、決意とお礼に代えさせて頂きます。

出席率報告

委員長 冨永啓太

出席免除会員数 2名	52名	数	員	会	現
本日の出席率	50名	出席義務会員数			
73.08%	14名	数	者	席	欠
	36名	数	者	席	出
ZOOM(4名) 会場(34)名	2名	席数	員出月	除会員	免隊

*届け出欠席 安達・浅野・後藤・堀川・岩下・加登住・有村 宮原・中村・大賀・尾上・新堀・友永・外山

*出席免除会員 愛甲·武末

ロータリーの友紹介

11月号見所紹介

伊久美早利会員



• 表紙イラスト

動物をモチーフにしたことわざシリーズ。ブタさんのウエイターがポークステーキを運んでいるイラスト。今月のことわざは「生きている限り希望がある」。その裏返しで「明日は我が身」を表している。

・R I 会長メッセージ (P5)

11月はロータリー財団月間。グアテマラ、ホンジュラス、ベナンでの財団の取組を紹介。ロータリーホームページの寄付のページには他にも様々な取組みが載っているためぜひ見てほしい。

・特集:インドで出会った笑顔の子供たち~ロータリー財団月間 (P7)

インドでのポリオワクチン投与活動に従事しているロータリーの4人へのインタビュー。そのうちの一人、明山友美さんはANA国際線のCAをしている時に、インドの子供たちが苦しい環境に置かれていることを目の当たりにして、この活動を始めたとのこと。ロータリーでは2001年からワクチン投与活動を継続しており、インドは2014年にポリオ根絶を宣言した。

・2023-24年度RI会長を選出(P41)

RI会長指名委員会は2023-24年度会長にスコットランドのゴードン・R.マッキナリー氏を選出。 RI会長ノミニーとして宣言

・友愛の広場から (P54)

秋田県能代RC村越さんからの投稿を紹介。多くの臓器を手術で摘出した人との出会いを通じて、自らも病と付き合いながらロータリアンとして奉仕活動に勤めている。

月間卓話

【ロータリー財団委員会】 委員長 片岡啓一

ロータリー財団の活動は大変広範囲に及んでいます。具体的には、世界の人々の健康、教育、環境、貧困、世界平和などの分野で活動を続けております。その中でも有名な活動として、財団奨学生制度があります。第8代国連難民高等弁務官を務められ、新聞等でもよく報道されていました「緒方貞子」氏は、ロータリー財団の奨学金を受けた第1回目のロータリー国際親善奨学生となられたのが昭和26年、まだ戦後まもなくでした。その後の活躍については、皆さんも新聞などでよくご存知だと思います

その他の財団の活動で有名なのが「ポリオ撲滅」の活動です。ポリオとは、いわゆる小児麻痺 正式には急性灰白髄炎のことと動が、これについての活動ビデオがありますので、皆さ



んにはそれを見てもらい、理解を深めてもらいたい と思います。

(ビデオ) 『ロータリーとポリオ』

今度は日本のポリオについて少しお話を進めてみ たいと思います。

日本では戦後、昭和25年頃から35年にかけて、日本全国そして世界各国でポリオが大流行しました。 現在のコロナ蔓延とよく似た状況でした。昭和35年 1960年には、日本全国で5600人のポリオ(小児麻痺)の患者が発生しました。特に5歳以下の子供たちに感染が多く、国中のお母さんたちはとても心配をされました。私たちが子供の頃、ポリオに感染した子供やポリオで亡くなられた方々などのことをよく見聞きしました。

その当時日本中に蔓延したポリオ(小児麻痺)は現 在のコロナのような状態でしたが日本政府も何とか しなくては、と検討していましたが、昭和36年、日 本ではまだワクチンの開発ができてなかったので、 ワクチンを輸入して確保することに決定しました。 そこでワクチン製造に成功していたアメリカに自羽 の矢を立てました。しかし、その頃ちょうどアメリ カ国内でもポリオが大流行し始め、アメリカ国内で のワクチン投与のため品不足となり、日本への輸入 が不可能になりました。そこで政府はワクチン製造 に成功しているもう一つの国ソ連に目をつけまし た。ただその当時、米ソは冷戦の真っ只中、鉄の カーテンで行き来が困難な時期でした。当時ソ連と いうことで政府内では、かなりの抵抗があったと思 いますが、時の厚生大臣の英断で、1,300万人分のワ クチンを1961年(昭和36年)にソ連から輸入をし、こ のワクチンの国内投与により、日本のポリオの患者 数は劇的に減少しました。

国際ロータリーでは、1979年(昭和54年)ポリオプロジェクトを立ち上げ、ロータリー財団から資金を出し、ポリオ撲滅に取り組み始めました。

人吉ロータリーでも1987年(昭和62年)釜田会長年度 にポリオ委員会を発足、初代の委員長は堤治助委員 長でした。

2013年には、ポリオ症例は10カ国、ケニア・ソマリア・エチオピア・シリア・カメルーン・イラク・ギニア・ナイジェリア・アフガニスタン・パキスタン等の国々でしたが、ついに2020年(昨年)は10カ国からアフガニスタン・パキスタンの2カ国になりました。しかし、遠隔地・不十分なインフラ・紛争地帯・貧困・文化的な障害・難民など様々の壁が立ちはだかっています。しかし、ポリオ根絶のための(あと少し)キャンペーンは、国際ロータリーと共にユニセフ・世界保健機構(WHO)・ビルゲイツ財団・各国政府などが協力して「世界ポリオ根絶推進計画」が進められています。

地球上でのポリオ根絶は実現可能です。根絶まであと15億ドル必要です。皆様の温かいご寄付を心より願っております。

ロータリー財団の標語は「世界でよいことをしよ う」です。よろしくお願いします。



寄付カード

ニコニコ箱・出席委員会 上村祐一

〈ニコニコ箱委員会〉

- 石蔵会長 片岡パスト会長、お忙しいところ財団 卓話ありがとうございました。延岡パスト会長 (いずれはRI会長も!!) ガバナーに向けて応援 いたします。
- ・延岡会員 5年後に向けて頑張っていきます。宜しくお願いします。

〈R財団委員会〉

- ・片岡会員 「世界でよいことをしよう」です。よろしく
- ・有馬会員 増田力先生のお陰で現在の私があります。ポリオの話を聞く度に心より感謝しています。片岡委員長ご紹介頂きありがとうございます。
- ・延岡会員 ニコニコカードと同文

〈米山記念奨学委員会〉

・延岡会員 ニコニコカードと同文

〈人吉R C 奨学基金委員会〉

・延岡会員 ニコニコカードと同文

点 鐘

石蔵 尚之 会長